

第2回越生町立小中学校二学期制継続検証委員会議事録

令和4年 5月 7日(土) 14:00～

1 開会(事務局)

2 委嘱状交付(教育長)

3 あいさつ(教育長)
(委員長)

4 事務局より(事務局)

5 協議

(1) 中学校の年間行事予定と定期テスト等の日程比較

- 事務局が説明
- 主な発言内容

委員長

- ・ 2学期制と3学期制のテストについて中学校はどう考えているか?

委員9

- ・ 3学期制の場合、1年生の5月の最初のテスト範囲が短くなる。2学期制の5月上旬のテストの時期だと範囲がしっかりとれてありがたい。

委員6

- ・ 今年度の越生中は4月20日から通常の間割がスタートしている。3学期制の場合、そこから1カ月もない時間で、5月中旬の中間テストでは範囲も狭く、生徒の学力をうまくはかれない。6月の最初であれば十分にはかれるのではないか。
- ・ 9月～12月、1月～3月のテストの時期でみると資料に示された時期に2学期制と3学期制では、あまり大きな差はないが、3学期制の学校だと7月にテストがあり、テストの採点と成績処理が同時に行われ、その中での授業になるのでかなり負担が大きい。2学期制であれば、授業に集中できる学習環境が整い、プラスに働くことが多いと思う。

委員長

- ・ 保護者の立場からみて2学期制はどうか。

委員12

- ・ 3学期制の方は5回テストがあり良いとは思いますが、1回のテストの間が狭いと感じる。そうすると部活動の日数が減るのでは。それなら部活動の時間が確保できる2学期制の方がよいのではないか。

委員長

- ・ 定期テストと部活動の関係はどうか。

委員 6

- ・ 定期テストの前には5日前から諸活動が停止する。テストが増えればその分
部活動の日数は減ることになる。越生中は6月の運動部の大会前にテストが終
了している。3学期制だと期末テストの時期と大会が重なり、部活動をテスト
前でも行っている実情がある。10月の大会においても同じ状況である。

委員 1 5

- ・ 保護者の立場からするとテスト期間中と部活動の大会の両立ができるほう
がよい。

(2) 二学期制の学校から三学期の学校に赴任した先生の感想等

- 事務局が説明
- 主な発言内容

委員長

- ・ 2学期制の学校から3学期制の学校に赴任した先生の感想を聞いてどうか。

委員 2 6

- ・ 3学期制のよいところとして高校の個別面談にて通知表が2回あるのでチ
ャンスがあるということ、夏休み前に成績を示すことができないので受験校に
向けた指針が立てにくいというが、自身の経験からもここが一番の問題だと感
じる。都内私立では夏に決まってしまうところもあり、2学期制では通知表を
もっていけないため、失敗してしまった経験がある。意見としてでている以上、
やはり解決しなくてはいけないのではないかと。進学に際して、すべての生徒が
同じ条件で平等でなくてはならない。実態を調査するためにも、生徒や卒業生
の保護者を含み、アンケートを取り、実態の把握をすべきである。

委員長

- ・ 都内私立についての志望者等の現状はどうか。また、アンケート調査につい
てはどうか。

委員 9

- ・ 一昨年3年生を担当したが、都内私立の志望者はいなかった。2学期制が受
験に不利にはたらいたということは特に感じていない。

委員 6

- ・ 資料1の中で夏休み前に成績を示すことができないとのことだが、少なくと
も私が赴任した3年前からは夏休み前には5科の成績を渡している。3年生に
はその成績をもって高校との面談に持って行ってもらっているが、特に問題が
あったという報告はない。2学期制の導入直後はそういった問題もあったか
もしれないが、過去3年に限れば、各高校には成績表と同じ扱いをしていただ
いている。

事務局

- ・ 成績表については小中で全員に渡している。過去に勤務していた先生方から
の回答には他の2学期制の学校から赴任した場合もあるので越生町が、夏休み

前に成績表を出せないというわけではないと考える。成績表という言葉に関しては、通知表ということでこの成績表にどれだけの信憑性があるのかの問題になっている。

委員 2 4

- ・ 夏の個別面談では越生中のような成績表でも対応している。ただし、推薦を出すかどうかについては、内申に1があると推薦はだせない。全教科の内申がそろった状態で推薦を出す。今は偏差値より内申を重視している。西部地区の私立高校は定員割れしている。通知表は10月上旬でも十分間に合う。学校によって不利益がでないように努力している。

委員 3

- ・ 進路に関しては保護者の心配はごもっともである。できるだけ進路を早く決めたいという気持ちもわかる。しかし、あまり早く進路が決まってしまうのはデメリットもある。担任と面談をしっかりと行い、進路を決めていくのがベストである。夏休みを挟んでしっかり受験勉強に取り組むのがよいのではないか。ただ、保護者や高校の要望には応えていくので、何かあったら連絡してほしい。越生中では2学期制がうまく運用されていると感じる。より充実させていくべきだと考える。

委員 2 6

- ・ アンケート調査の要望は出させていただきたい。

委員長

- ・ アンケート調査の実施については教育委員会判断だが、アンケート調査についてはどうか。何を目的に行うのか。

委員 2 6

- ・ 2学期制等に関して意見をもつ保護者はいる。アンケート調査は小学生でもできる。2学期制に関してアンケート調査によって問題の本質を知りたい。

委員長

- ・ 学校に2学期制についての意見はあるか。

委員 6

- ・ 昨年度では特に要望はない。

委員長

- ・ 保護者等の意見について学校以外からの意見を聞きたい。

委員 2 7

- ・ 令和2年度のアンケートには小中併せて3名の方が3学期制への要望があった。3学期制に戻してほしい、近隣に合わせてほしいという要望である。少数であるが、落とさずに議論すべきだと思う。

事務局

- ・ 学校評価アンケートには2学期制の検証をすべきではないか。3学期制に戻すべきとの意見があった。教育委員会としては本検証委員会を立ち上げること

で対応している。

委員長

- ・ そういった意見に対応して成績表を出す等の対応を学校側はしている。アンケートに対しての考えを本検証委員会で意見を挙げてほしい。

委員 2 3

- ・ 教育委員はアンケート調査を実施する側なので出す、出さないについて特に意見を言う立場にないと考える。

委員 1 2

- ・ アンケート調査の目的は何なのか。保護者にとるなら、3学期制を経験した保護者が多いので3学期制に戻すという意見になるし、児童生徒、卒業生は2学期制しか経験していない。アンケート調査を実施するならだれを対象にするのかが非常に大切である。学校評価アンケートに付け足して聞くのがいいのではないか。

委員 5

- ・ 在籍している児童・保護者にはアンケート調査の実施は容易であるが、地域、卒業生へのアンケートについては周知、配布、回収等に課題があり公平性が欠けるのではないか。

委員 4

- ・ アンケート調査を実施するのであれば、説明責任がある。目的がはっきりしてないままではかえって混乱を招くのではないか。また、調査方法によっては今ある良さを失う可能性もある。平等性も含め、慎重に考える必要がある。

(3) 調査審議内容のまとめ

- 事務局が説明（2学期制の成果として考えられる視点、2学期制の実施にあたり一部対応が必要と考えられる視点にわけてまとめた）
- 主な発言内容

委員長

- ・ 事務局のまとめに関して追加したいことはあるか。

委員 1 2

- ・ 越生町連合 PTA 会長の福田さんより意見をいただいている。入学する保護者に対して2学期制に対する説明が足りていないのではないか。特に中学校の保護者には特に必要だと感じる。入学説明会、就学時検診等で説明する機会を設け、今後一層アピールしていく必要があると感じる。

委員 5

- ・ 調査審議内容まとめの子どもたちの安全に関する視点に関して、梅園小学校では後期の金曜日に全校5時間授業を実施し、安全面での配慮ができています。

事務局

- ・ 下校時間に関しては町内3校で対応できている。
- ・ アンケートの方向性を出していただきたい。

委員 1 3

- ・ アンケート調査について、実施するなら公平にすべき。また、2学期制の実施について本検証が学校関係者、地域、有識者の検証委員会であるため、本検証会の結論で十分ではないか。

委員 2 3

- ・ 本検証委員会は2学期制実施の過去15年のまとめである。過去のアンケートの結果等も前回の資料に含まれている。アンケート調査を実施するなら質問項目の精査が必要であるが、結果によってまた検証するのではなく、今ある2学期制のうまくいっている部分をさらに子どもたちへ還元し、先生方の働き方改革につなげ、よりよい学校環境を整備すべきである。アンケート調査を繰り返すことで良さが失われる可能性もある。だからこそ、本検証委員会で結論をだすべきである。保護者の立場として2学期制に不便は感じない。本検証委員会はよりよい方向性に向かわせる役割がある。

委員 1 8

- ・ 本検証委員会ででた意見は重い。しかし、アンケート調査を実施するにはまだ議論が足りない。何のために、誰を対象にアンケートを取るのかが大事である。まだ、機は熟していない。学校も子どもたちは困っていない。しっかり意見を聞いてからすべきである。

委員 1 7

- ・ 前回の審議内容のまとめで自身は納得している。アンケート調査の目的が分からない。15年実施している2学期制に対して大きな問題もなく、子どもや保護者に初めて経験する2学期制に対して何をアンケート調査で何を聞くのか。アンケート調査の目的がはっきりしていないと本検証委員会で何を議論するのか困る。

委員 1 4

- ・ 本検証委員会の内容は保護者も関心がある。積極的に公開していただきたい。

委員 1 1

- ・ 小学生対象にしたアンケート調査は有効なのか。小中学生がわかるように説明すべきだし、時間がかかり目的が見えなくなる恐おそれがある。

委員 1 7

- ・ 第1回の議事録がHPに出たが、広報の学校のページに2学期制に関してアピールすべきである。広く地域に粘り強くアピールしていく必要がある。

委員 1 0

- ・ 保護者としては子どもにとって何が最善であるかが重要である。2学期制に先生方がメリットを感じているならそれが子どもにもよい影響があると思う。2学期制にも3学期制にもメリットデメリットはある。それならば今ある2学期制をより充実させていくのがよいのではないか。今後の社会的背景等を鑑みてまた議論すればよい。アンケート調査よりもまずは2学期制に関して充実さ

せていくべきである。

委員 8

- ・ 2学期制には学校行事の実施や、教師と子どもとの関わりの時間が増えるなど、教師、子どもに双方にメリットがある。2学期制をさらに充実させていくべき。アンケート調査についても中学校3年生と小学校1年生の意見は同じとしてとらえられない。

委員 7

- ・ アンケート調査で何を聞くのか、2学期制しか知らない子どもたちに何を聞くのか。学期の切り替えもスムーズにできている。

委員 2

- ・ 現行の学習指導要領では各教科領域の時数が増え、負担が増している。その点では越生町は給食の回数も多く、授業時数が確保できる2学期制はベストとまではいかないがベターである。小学校では受験への意識が薄い、中学生への不利益はあってはならないが、中学校では様々な工夫改善がなされていると思う。アンケート調査については今後、議論していく中で必要になったら選択肢として出てくると考える。

委員 1

- ・ 2学期制に関しては働く教員や子供たちの視点で考えるべきである。現状、2学期制が越生町に根付いている。大きな支障がない限りは現状でよいと考える。受験に関して不利益があるのかが議論になっているが、高校側にも様々な配慮をいただいているので、不利益があるのであれば対応が必要だが、そうでないのなら現状でよいと考える。働き方改革の観点からしても2学期制により生まれるゆとりを大切にしていきたい。

委員 2 8

- ・ 学校と子どもにゆとりがあるのであれば2学期制に賛成する。

6 その他（事務局）

- ・ 次回は10月に本検証委員会を開催予定である。閉会中は、学校生活等の中で各委員さんには調査検証をお願いしたい。また越生町 HP で本検証委員会の議事録等を可能な範囲で示す予定である。

7 閉会（副委員長）